

## 第34回全国保健師教育機関協議会 夏季研修プログラム

テーマ:住民とともにあるこれからの公衆衛生看護学をつくる

開催日: 2019年8月19日(月)9:50~16:15

場 所: 国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス 302,303,602,603,604 講義室(東京都港区赤坂4丁目1-26)

参加費: 会員校;5,000円、非会員校;15,000円、現任保健師(無料)

09:30~09:50	受付	
09:50~10:00	開会・オリエンテーション	全国保健師教育機関協議会 研修委員長 山口 忍 理事
[302,303 講義室]	開会挨拶	全国保健師教育機関協議会 副会長 荒木田美香子 理事
10:00~12:00	パネルディスカッション「住民とともにある公衆衛生看護学への期待」	座長: 北岡英子(神奈川県立保健福祉大学)、山口 忍(茨城県立医療大学)
	パネラー:	
	岸 恵美子氏(東邦大学 本協議会会長)	内容: 学部保健師課程の課題、目指すこと
	井伊久美子氏(香川県立保健医療大学 学長)	内容: 大学院保健師課程の課題、目指すこと
	藤原 啓子氏(横浜市健康福祉局健康安全部 部長)	内容: 新人保健師への期待、教育に求めること
	山口 育子氏(認定NPO 法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長)	内容: 保健師への期待、こんな保健師に身近にいてほしいと思うこと
<休憩>		
13:00~15:00		
【第一分科会】	テーマ: 公衆衛生看護学に必要な統計学	
研修委員会	座長: 山口 忍(研修委員会委員長、茨城県立医療大学)	
企画	講師: 西連寺 利己氏(獨協医科大学 准教授)	
[604 講義室]	内容: 翌日から保健師が使える統計学を伝授する。	
定員 70 名		
【第二分科会】	テーマ: 出題基準改定後の保健師国家試験問題の動向と対策	
国家試験委員会	座長: 坪川 トモ子氏(国家試験委員会 委員長)	
企画	目的: 保健師国家試験出題基準改定後、養成校別による合格率の差が生じている現状を踏まえ、今後の保健師国家試験対策を考える機会とする。	
[602 講義室]	内容: 第104回・105回保健師国家試験問題の傾向や合格率に関する資料を基に、養成校各校における対策の現状を情報交換する。	
定員 50 名	国家試験問題の作問を通して、日頃の教育や国家試験受験対策を考える。	
【第三分科会】	テーマ: 上乗せの保健師教育課程の実習の実際(仮)	
教育体制委員会	座長: 松尾 和枝氏(福岡女学院看護大学)	
企画	和泉 京子氏(教育体制委員会委員長、武庫川女子大学)	
[603 講義室]	発表者: 和泉 比佐子氏(神戸大学大学院)、臺 有桂氏(国際医療福祉大学大学院)	
定員 90 名	内容: 1. 上乗せの保健師教育課程の実習の実際 2. グループワーク	
15:00~15:15	<休憩>	
15:15~16:15	テーマ: 大学院における保健師課程設置のプロセス	
	座長: 荒木田 美香子氏(国際医療福祉大学 教授 副会長)	
全体会	講師: 井伊 久美子氏(香川県立保健医療大学 学長)	
[302,303 講義室]		